

一の宮巡拝

一の宮巡拝会 発行人 塩原 輝昭

〒111-0055 東京都台東区三筋1-12-12第一大津ビル(株)アルプス・タカス内
電話:03-5823-3901 ファックス:03-3865-2135
E-mail:shio0369@crocus.ocn.ne.jp

新たな出発を喫して

去る平成26年4月26日、関東ブロック主催の貫前神社、秩父神社の巡拝交流会が実施されました。参拝後、秩父神社参集殿をお借りして当巡拝会の総会を開催。本年1月11日に行われた世話人会の重要課題に基づき、会則の改正と役員の改選などが討議されました。(本紙4~5頁参照)

特に、今回は組織を一新して次代へ繋げたいとの思いで、一の宮巡拝の先驅者 橘三喜を当会の名誉会主とし、創立者の入江孝一郎先生を名誉会長に位置づけ、その理念を永遠に伝えて行きたいと存じます。時代を超えて、誰もが一の宮を身近に感じて日本全国の一の宮神社にお参りしていただきたいとの願望です。やがて、「一の宮詣」が当たり前になって人々の平安の礎になることを祈願しています。

さて、前代表閑口行弘氏は入江孝一郎先生亡き後、先生の教えを継承して8年間の長きにわたり会の発展に多大な貢献をされました。各地で開催した「一の宮シンポジウム」や「勉強会」など、

昨今の神社ブームを先取りされた活動をされました。その二代目代表世話人の閑口氏に変わり、今日、三代目の代表世話人を私が拝命することとなりました。

思えば、私が入江先生と初めて出会ったのは、伊勢国一の宮椿大神社で故山本行隆宮司様の下で修行の身であった時で、椿大神社の神山、入道ヶ岳の山頂・奥宮がありました。今は故人となられました、山本、入江両師大人命の意思を継承してまいりたく、また、両先生との出会いが必然であったと思えてなりません。

今年は「一の宮巡拝会」創立15周年になります。既に当会が先んじて企画発刊してきた『全国一の宮巡拝のすすめ』と『全国一の宮所在地図』を改訂して、最新の情報を皆様方にお届けしたいと存じます。

一の宮巡拝会15周年という記念の年を機に、新たに組織、人事を一新して更なる発展を目指していく覚悟でございます。より一層のご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

一の宮巡拝会 代表世話人 塩原 輝昭

入会を希望する方は各事務局へご連絡ください。

一の宮巡拝会 本部事務局

〒111-0055 東京都台東区三筋1-12-12第一大津ビル(株)アルプス・タカス内
電話:03-5823-3901 ファックス:03-3865-2135
E-mail:shio0369@crocus.ocn.ne.jp

一の宮巡拝会 関西事務局

〒595-0024 大阪府泉大津市池浦町2-8-17高寺壽内
電話:080-3108-4881 ファックス:0725-22-4040
E-mail:takaderahachirobe@nike.eonet.ne.jp

入会金・会費等お振込先:郵便振替(大阪)00990-5-81515

目的地：上野国一の宮・一之宮貫前神社～知知夫国一の宮・秩父神社

期　日：平成26年4月26日（土）日帰り

目　的：両社正式参拝(東日本大震災復興祈願・大祓詞唱和)及び巡拝会総会

平成26年4月26日（土）に実施された関東ブロック第8回交流会は上野国一の宮・一之宮貫前神社～知知夫国一の宮・秩父神社巡拝を行いました。今回は交流会と巡拝会の総会を兼ね開催されました。

ゴールデン・ウイーク前の開催でしたが各地より26名の参加があり、定時に東京駅丸の内北口から手配の大型観光バスに乗車、一路関越道経由で上野国富岡までスタート致しました。

車中にて今回の担当幹事の世話人村上彰さんより配布資料の説明又貫前神社の地理的特性等の説明があり、上州・富岡製糸場の世界遺産指定のニュースもあり期待が高まりました。

今回の巡拝は関東ブロックのテーマ東日本大震災復興を祈念し、大祓詞の奏上と復興祝詞の奏上も合わせて催行されました。

車中では関口行弘代表世話人の挨拶、副代表世話人塩原輝昭さんの経過説明の後、参加者の自己紹介が順次行なわれ、初参加の方、遠路の方々と各会員の巡拝の報告も多くあり巡拝の楽しさが実感されました。

途中、甘楽パーキングにて、玉串奉奠の諸作法を塩原さんより講習を受け、シューマイ弁当の昼食を済ませて、富岡へ向かう。

一之宮貫前神社は全国的に見回しても珍しい参道であり、広い坂道から階段を上ると、大きな朱塗の両部鳥居をくぐり総門に向かう、境内地へは急な石段を下り、拝殿・本殿を望むという様式でその特異性が有名です。神社は経津主神、姫大神をお祀りしており、徳川三代將軍家光の命により寛永12年社殿が造営され、江戸初期の華麗な本殿、拝殿、楼門は国の需要文化財に指定を受けている、平成21年から続いている「平成の大修繕」が昨年終了し、平成25年秋に新装遷座となった御社殿は一層の華麗さと神々しさを実感することが出来ました。

正式参拝を行うため、早速全員にて拝殿に導かれ、先ずは関口代表の玉串奉奠、参加者代表として鎌倉よりの初参加者、高尾仁美さんの玉串奉奠が行われ参加者は列挙した。

事前の講習会の成果が表れ全員そろって拝礼致しました。その後、小林富士夫宮司様より境内のご説明を

受け、本殿内2階建て様式の特異性を聞けた。又上部の「雷神小窓」の説明には、カメラのシャッターを押した方々がおりました。

各自の朱印帳を受取り、今度は参道の階段を上り、仮殿敷地に移動し神宮社前に参集後、事前に配布された大祓詞を全員にて奏上し、新たに加筆作成された、東日本大震災復興祈願祝詞を皆で唱和致しました。

未だに、復興の兆しが見えない被災者に思いを寄せ、深い祈りを済ませて次の巡拝神社、知知夫国・一の宮秩父神社へと赴く。

渋滞もなく、予定時間に秩父神社に到着。早速朱塗りの大鳥居をくぐり社務所前にて待機。さすが埼玉秩父では地の利の良さでしょうか、参拝者が多く次々と祈願・宮参りと拝殿周辺は大賑わいでした。

先に伏見博樹権禰宜様より秩父神社の由緒と境内の案内をして頂く。権現造りの社殿の豪華さや拝殿上部の左甚五郎作と伝えられる（つなぎの龍）や（子育ての寅）・（お元気三猿）等を説明と共に拝見し江戸時代の名工匠の技を間近に感じました。

正式参拝の準備が整い拝殿内へと昇殿する。玉串奉奠は関口代表に続き、参拝者代表として東京新宿の小島紀美子さんが奉奠し全員が作法に従い拝礼致しました。その後、本殿裏手天神地祇社前に移動、ここには一の宮の神々も祀られている。北辰の星が見守る敷地で天神地祇社前の八足案の上には玉串まで準備されており、神社のお心遣いに感謝しつつ大祓詞を奏上し、次に東日本大震災復興祈願祝詞を全員にて唱和し、一日も早い復興を祈念した。大谷武司さんが玉串を奉奠し、締めくくりに塩原輝昭さんが参加者代表として玉串を奉奠して巡拝行動は終了した。

その後、総会を秩父神社内の参集殿にて開催致しました。その報告は別稿(4~5頁)をご覧ください。

今回の交流会は好天と交通渋滞もなく、参加者皆様のご協力のもと時間にも余裕が有り順調な巡拝となりました。感謝致します。

関東ブロックは大祓詞奏上、東日本大震災復興・鎮魂祝詞を参加者全員で唱和をすることが通例となっており、参加者の心に何か留まる巡拝になることが出来ればと念じております。

上野国一の宮・一之宮貫前神社



貫前神社 大鳥居 上州の山連が素晴らしい



総門からの下り階段の参道



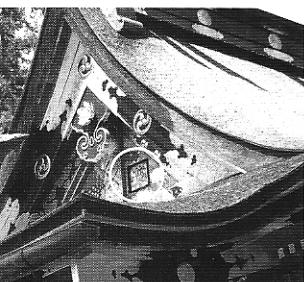
正式参拝前の禊祓



神々しい装いを見せる奥の本殿と手前拝殿



小林宮司様から社殿の説明



御本殿「雷神小窓」を望む



左から樓門・拝殿・本殿 境内中心部



神宮社前での祈願祭前の祓詞



東日本大震災復興祈願を唱和



秩父神社 手水



正式参拝・御本殿内院



直会の御神酒を戴く



左甚五郎作 つなぎの龍



伏見権禪宜様の境内案内



御社殿前での記念写真



北辰の廻の説明を聞く会員



北辰の廻 小体は御本殿に頭は正反対の
真北に向き昼夜を問わず祭神を守っている



大祓詞・東日本大震災復興祈願祝詞唱和



締めくくりの玉串奉奠

平成26年度 一の宮巡拝会 総会

故入江孝一郎氏により平成11年4月に発足した一の宮巡拝会も先生亡き後、平成17年4月から関口行弘氏によりその遺志と理念は受け継がれてまいりました。

平成25年10月に行われた20年に一度の神宮の御遷宮、又60年に一度の出雲大社『平成の大遷宮』等、昨年は特に日本古来の良さが見直された年でした。又、全国一の宮巡拝の旅が近年特に注目を集めており、この機会を捉えて、一層会の発展を願い会員相互交流の場としての一の宮巡拝会の充実を図るべく、会則等一部を改正し新体制にて運営を図ることとなりました。

平成26年4月26日、関東ブロック交流会の後、秩父神社参集殿にて総会を開催致しました。司会、岸本鐵夫により開会し、関口代表よりの経過報告では『入江孝一郎先生の後を引き継ぎ8年間会運営を行い一応の成果を得た。全国各所に於いても神社ブームが沸き上がっています。なお一層の会の発展を次期の方にお願いしたい』とのことでした。これを受け平成26年1月11日の世話人会の報告が行われました。

(議題-I) 平成25年度 決算報告

(議題-II) 会則の改正 (第8条に基づき、平成26年1月11日世話人会にて改正)

- ① 第4条 (現) 本会は、次の世話人及び顧問・他を置く。
(新) 本会は、会主・名誉会長・世話人・監査役及び顧問・他を置く。
*以下、原文と同じ。
- ② 第5条 (現) 本会の事務局は、兵庫県川西市大和東2-13-10に置く。
(新) 本会の住所は、東京都台東区三筋1-12-12(株)アルプス・タカス内に置く。
*以下、原文と同じ。
- ③ 第10条 (新) 本会の設立は、平成11年4月1日とする。
- ④ 附則に追加 1条 本会の代表者を関口行弘から塩原輝昭に変更する。
2条 本会則は、平成26年4月1日より施行する。
(注) 会則改訂に伴い、入会金・会費等の振替口座について、番号の変更はないが、
出入金管理局は東京・台東三筋郵便局に変更する。<従来の振替票の使用可能>

(議題-III) 平成26・27年度 役員改選(案)

名 誉 会 主	橋 三 喜	(一の宮巡拝の先駆者・元禄16年3月没)
名 誉 会 長	入 江 孝 一 郎	(一の宮巡拝会創立者・平成17年1月没)
代 表 世 話 人	塩 原 輝 昭	
副 代 表 世 話 人	大 谷 武 司	中部ブロック
副 代 表 世 話 人	岸 本 鐵 夫	関東ブロック
副 代 表 世 話 人	高 寺 壽	近畿ブロック
関 東 ブ ロ ッ ク 世 話 人	村 上 彰	神奈川地区世話人
関 西 ブ ロ ッ ク 世 話 人	南 尋 公	京都・滋賀地区世話人
九 州 ブ ロ ッ ク 世 話 人	鶴 田 一 邦	熊本地区世話人
庶 務 世 話 人	入 江 光	関東ブロック・東京地区世話人
会 計 世 話 人	梅 山 裕 美	特別会員
監 査 役	野 島 洋 子	関東ブロック・千葉地区世話人
顧 問	齋 藤 盛 之	
顧 問	生 谷 陽 之 助	
相 談 役	関 口 行 弘	
特 別 会 員	郡 順 史	
特 別 会 員	ダスティン・キッド	
会 友	ウィルチコ・フローリアン	

(議題Ⅳ) 平成26年度 年次計画(案)

- ① 近畿ブロック勉強会 6月28日(土) 13:30~16:30
場所: 新大阪丸ビル本館608号室 (Tel: 06-6321-1516) *3ヶ月に一回、開催予定
- ② 近畿ブロック交流会 場所: 東九州 9月予定 <詳細は次号会報又は別紙連絡予定>
 - 第1日目 宮崎空港~鶴戸神宮・宮崎神宮・都農神社(正式参拝予定)・美々津・立磐神社・大御神社~別府温泉宿泊地
 - 第2日目 宿泊地~西寒田神社~柞原八幡宮~宇佐神宮~福岡空港 <詳細は次号会報又は別紙連絡予定>
- ③ 総会兼関東ブロック第8回交流会 4月26日 日帰り予定
場所: 上野国一の宮・一之宮貫前神社、知知夫国一の宮・秩父神社
(参考)関東ブロック27年度は、1泊2日で、鹽竈神社・駒形神社・他を予定。
- ④ 巡拝会 会員有志による雄山神社・峰本社の登拝を8月中旬に実施計画予定 <詳細は次号会報又は別紙連絡予定>
- ⑤ 全国一の宮巡拝のすすめ - 冊子 - 改訂版の再編集及び発刊 平成26年6月中旬頃の発刊予定
- ⑥ 全国一の宮神社所在地 - 地図 - 改訂版の再編集及び発刊 平成26年6月中旬頃の発刊予定

以上の会則改正・役員改選・年次計画等の審議事項を図り出席者全員の賛成を得て承認されました。

続いて関口代表から、塩原新代表に会が引き継がれ、長年の会運営のご尽力に対し心より感謝し、今後の会活動に新役員一同決意を新たに致し無事総会を閉会致しました。

一の宮巡拝会 会則

1 総 則

- 第1条 本会の名称は『一の宮巡拝会』とする。
- 第2条 本会は、諸國一の宮を巡拝、その普及を目的とする。
- 第3条 前条の目的を達成するため次の事業を行う。
 - 1 「全国一の宮会」への協力および連絡。
 - 2 一の宮に関する情報の交換および研究調査。
 - 3 研究発表や講演会など。
 - 4 機関誌などの刊行。
 - 5 その他、諸事業の開催。
- 第4条 本会は、会主・名誉会長・世話人・監査役及び顧問・他を置く。
 - 世話人: 代表1名。副代表若干名。
 - 世話人 <** ブロック。** 県。** 国。等>若干名。
 - 監査役 2名。
 - 顧 問 若干名。
 - 相談役 若干名。
 - * 任期は、2年間とする。
 - * 特別事情がある場合には辞退する。辞退していただく事もある。
- 第5条 本会の住所は、東京都台東区三筋1-12-12(株)アルプス・タカス内に置く。
 - 又、総務、会計、広報、機関紙刊行、等必要に応じて代表世話人の指名する所に分担して行う事も出来る。
- 第6条 本会の会計年度は、1月1日からその年度の12月31日とする。
- 第7条 本会の会員は、第2条の目的に賛同し、年会費3,000円以上納入した者とする。
- 第8条 本会の会則は、世話人に於いて必要に応じ改正する事ができる。
- 第9条 『一の宮巡拝会』が企画・制作する著作権及び商標権等は、会から選出された代表世話人にその全ての権利を帰属する。
- 第10条 本会の設立は、平成11年4月1日とする。

2 附 則

- 1条 本会の代表者を関口行弘から塩原輝昭に変更する。
- 2条 本会則は、平成26年4月1日より施行する。

一の宮巡拝会事務局

本部事務局 〒111-0055 東京都台東区三筋1-12-12 第一大津ビル(株)アルプス・タカス内
電話: 03-5823-3901 FAX: 03-3865-2135
E-mail: shio0369@crocus.ocn.ne.jp

関西事務局 〒595-0024 大阪府泉大津市池浦町2-8-17 高寺壽内
電話: 0725-32-1115 FAX: 0725-22-4040
E-mail: takaderahachirobe@nike.eonet.ne.jp



右・前代表関口行弘氏と新代表塩原輝昭氏の握手でバトンタッチ 新体制が歩みだした



総会前に、出張中の菌田宮司様に変って伏見権禰宜様からご挨拶を戴く



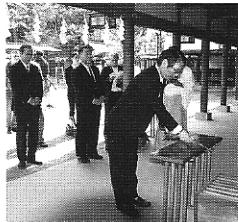
総会にて議題を審議進捗中

副代表を拝命して

副代表世話人(中部ブロック) 大谷 武司

平成26年4月26日の総会で一の宮巡拝会副代表に拝命されました。思えば平成11年頃から一の宮巡拝を開始し、諸説から諸国の複数の一の宮に戸惑いどうしたら良いか悩み、度々訪れた伊賀一の宮敢国神社の太郎館宮司から「全国一の宮御朱印帳」の存在を知り仕切り直し、平成12年5月4日に敢国神社を起点として平成13年4月22日に郷土の真清田神社を以て一年間でオートバイでの全国を周遊し、完拝しました。

創立者の入江孝一郎先生は平成17年1月13日に鬼籍に入られ故人となつたが、巡拝会の活動へ私財を投じた献身的な活動が今日の巡拝会に繋がっています。財力や人的交流等は決して真似は出来ないが、平成11年4月1日



に巡拝会を立ち上げて普及活動された意志を、私たちは継続して行かなければならないと考えています。

巡拝会が発足して15年、私が世話人としては13年が経ちました。長年勤めた役所も思い切って早期退職をし、このたび副代表の肩書を拝命したので、今まで以上の働きはしたい。自分の好きなことで余生を過ごしたいと考えています。

巡拝会の世話人と言う肩書は、無報酬。一の宮を参拝する方の手助けをする立場となるので知識も豊富でなければならない。史実や神道の知識を学ぶことも当然必要だと思います。再充電し直し、学んだことを巡拝会の活動に生かし、新代表世話人の塩原さんを補佐して、巡拝会がうまく運営できますようにと考えています。どうぞ宜しくお願ひします。

伊勢神宮崇敬会 正宮・別宮16宮参りに参加して

関東ブロック世話人 村上 彰

神宮は125社で構成される。全てのお社を参拝するのは、なかなか難しいことです。よって、平成26年2月17・18日に行われた、正宮・別宮16宮参りに参加してきました。

尚、神宮においては、17日から21日の間、祈年祭が執り行われ、当日はその初日に当りました。

外宮では、丁度祈年祭「奉幣の儀」が終り池田祭主様と祭員が引き上げるところに出会いました。参拝後、正宮・別宮16宮参りの開会式が行われる神宮会館に伊勢で合流した野島会員と共に向かいました。

開会式後、内宮へ滝祭神・風日祈宮・荒祭宮を参拝後、内宮「祈年祭奉幣の儀」参進を奉拝しました。宇治橋前からバスに乗り雪の残る瀧原宮4宮を順次参拝。次の月読宮4宮を参拝して会館に戻り、第1日目が終了した。

第2日目は、伊雑宮を参拝し、次の外宮に向かい、土宮・風宮・多賀宮・正宮を参拝してから、せんぐう館・月夜見宮・倭姫宮を参拝して会館に戻り閉会式が行われた。その後、一人で内宮御垣内参拝をして帰路についた。



内宮「祈年祭奉幣の儀」参進
前列が陛下の勅使
一人で内宮御垣内参拝をして帰路についた。

今回の参拝ではさまざまな経験をさせていただき、生かされている事のありがたさ、嬉しさを感じたすばらしい参拝でした。来年の16宮参りには、全て新しいお宮になっている事から、また新しい喜びを頂けるのではないかと今から次回を期待しています。

全国一の宮めぐりの旅

クラブツーリズム㈱の関西テーマ旅行センターの「一の宮めぐりの旅」ご案内。
(当巡拝会の関口行弘相談役がナビゲーターを務めている。
7月~12月の予定をお知らせします。)

- 7月16日(水)~18日(金) 出羽国1社&出羽三山めぐり。
- 8月21日(木)~22日(金) 筑前国2社&宗像大社めぐり。
- 9月17日(水)~19日(金) 武藏・上野・下野・秩父国4社めぐり。
- 10月 8日(水)~10日(金) 壱岐・対馬国2社めぐり。
- 11月12日(水)~14日(金) 隠岐国2社めぐり。
- 12月 3日(水)~ 5日(金) 相模・安房・上総・下総・常陸国7社めぐり。

お問い合わせは:電話 06-6733-0090、申し込みは:電話 06-6644-1006まで。
受付時間は(月~土) 9:15~17:30 日曜・祝日は休日です。



全国一の宮めぐりの旅 第20回
佐渡の国 度津神社 2014年4月10日

一の宮巡拝会 第3回近畿ブロック勉強会のお知らせ

副代表世話人(近畿ブロック) 高寺 壽

風薰る候、皆様方には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は一の宮巡拝会に温かいご支援を賜わり御礼申し上げます。

さて、近畿ブロックの第3回勉強会を下記により、開催しますので皆様お誘いあわせの上、ご参加くださいますようご案内申し上げます。今回は新大阪駅隣接の新大阪丸ビル本館で行います。

また、勉強会終了後、新大阪駅近くで懇親会も計画しておりますので、併せてご参加ください。



記

日 時：平成26年6月28日(土)13:30～16:30

場 所：新大阪丸ビル本館(06-6321-1516)608室

何か御座いましたら、高寺(080-3108-4881)までお問い合わせください。

一の宮巡拝会・近畿ブロック交流会

実行日：平成26年9月26(金)、27(土)、28(日)、29(月)

近畿ブロック出発

26.9.26(金) 京都八条口 --- 新大阪駅 --- 大阪南港(フェリー、船中泊) --- 宮崎港 -- 宮崎空港

26.9.27(土) 宮崎空港(午前10時、関東ブロック他、会員合流) --- 宮崎神宮 ---

日向国一の宮・都農神社(正式参拝) --- 美々津・立磐神社 --- 大御神社 ---

別府温泉(泊) 夕食兼懇親会

26.9.28(日) 別府温泉発 --- 豊後国一の宮・西寒多神社 -- 豊後国一の宮・柞原八幡宮 ---
豊前国一の宮・宇佐神宮 --- 福岡空港(関東ブロック、他離団～現地解散・各地へ)
近畿ブロックは益田市(泊)

近畿ブロック

26.9.29(月) 益田市 --- 石見国一の宮・物部神社(正式参拝) --- 大山・大神山神社奥宮 ---
蒜山高原 --- 米子道～中国道 --- 新大阪駅 --- 京都八条口着

参 加 費：全日程 4日間参加予算 68,000円

27日～28日 2日間参加予算 35,000円

*往 路：京都八条口及び宮崎空港までの費用と、

復 路：福岡空港及び京都八条口からの費用に付きましては参加者各自負担となります。

*申し込み・詳細のお問合わせ先

参加希望者は、7月末日締切ですが早目に下記へご連絡ください。

関西ブロック世話人 南 尋公 (携帯：090-1486-3490)

お申込みは FAX:077-525-3490 にてお願い致します。

越中国一の宮 雄山神社・峰本社 登拝

26年8月13日 室堂ターミナル 15時集合～一の越山荘宿泊(1泊2食付き 8,900円)

26年8月14日 山荘～雄山山頂「峰本社登拝」往復～一の越～室堂解散～立山室堂山荘泊

26年8月15日 自由行動 各自ルートで帰路を選択

参加費無料 …… 各人、各所自己清算をして頂きます。

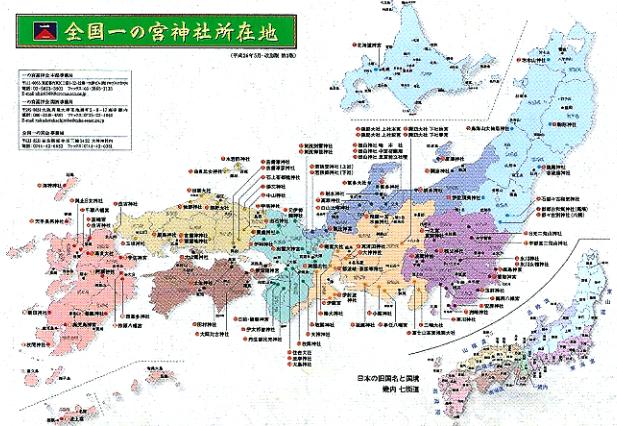
*参加希望者は東京事務局 梅山裕美(090-8569-5770)又はFAX:03-6730-3648迄ご連絡下さい。

*登拝希望者は先着5～8名迄で締切ます。

*室堂、又は一の越までの方は代理参拝(峰本社朱印拝)もお受けする予定です。

一の宮巡拝会創立十五周年企画 改訂版のご案内

全国一の宮神社所在地



◆全国一の宮神社所在地（会員は無料）
B3版 横両面刷り（四ツ折B5サイズ仕上）



B5版 20頁
平成二十六年五月、一の宮各神社のご協力により、神社情報が大幅に改訂再編集されました。

「全国一の宮巡拝のすすめ」「全国一の宮神社所在地」をご希望の方は、送付先を明記の上、送料分として切手360円(1セット分)を同封し、必ず封書で本部事務局へお申し込み下さい。

格式ある神社二十二社 準勅祭社 東京近郊十二社

新刊

斐伊川和紙 定価10,000円
四国楮和紙 定価6,000円

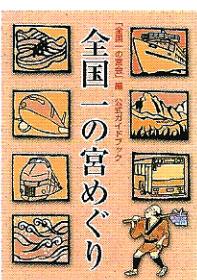
軽量で携帯に便利！ B5版 (送料別)

「全国一の宮会」編 公式ガイドブック

◆全国一の宮めぐり

一の宮神社の神職で構成されている「全国一の宮会」事務局(大和國)の宮大神神社内)で平成二十一年十二月に発刊された公式ガイドブック「の宮めぐり」は現在第五版となっています。

巡拝会発行の「全国一の宮巡拝のすすめ」と合せて活用して頂けたら幸いです。



◆旅する一の宮

一の宮めぐりをもつと気軽に旅するガイドブックとして新たに平成二十四年五月一日に発刊されました。一の宮神社案内と合わせ、各神社周辺の観光スポットを紹介した多彩な情報が満載です。



一の宮巡拝会本部事務局
〒二二一〇〇五五

東京都台東区三筋一十一一十九（株）アルプス・タカス内
電話○三一五八二三一三九〇一
FAX○三一三八六五一一二三五

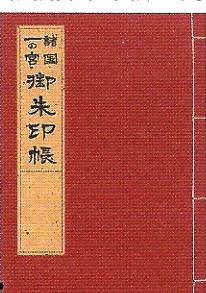
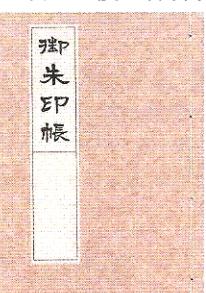
一の宮巡拝会関西事務局
〒五九五一〇二四
大阪府泉大津市池浦町二一八十七 高寺壽内

電話○八〇三二〇八一四八八一 FAX○七五二三一四〇四〇
一般維持会員 年会費 三〇〇〇円

尚、各公式ガイドブックは一の宮神社との宮巡拝会本部事務局で頒布しており、一般の書店では購入することは出来ません。全国の宮神社の社頭でお求め下さい。神社にない場合は、下記一の宮巡拝会本部事務局へお問い合わせ下さい。

頒布価格 各一、〇〇〇円(送料別)

B5版 軽量で携帯に便利、墨書きに優れ、好評の和紙御朱印帳です。



■別冊一の宮巡拝 創刊号

■信念の神道家 橋三喜



一の宮巡拝会編 特価1,000円

一の宮巡拝会刊 二,500円
(全て送料別)

◆斐伊川和紙(奥出雲・手漉き)
全て白紙版
定価一万三千円(送料別)

◆斐伊川和紙(奥出雲・手漉き)
一の宮神社名・ご祭神名入り
定価一万五千円(送料別)

●四国和紙・楮箆ケ峰
本文全て白紙版
定価六千円(送料別)

●四国和紙・楮箆ケ峰(青)
一の宮神社名・ご祭神名入り
定価七千円(送料別)

ご購入希望者は本部事務局まで